

【電子版】



2024年 第17号 2024年 5月29日

発行：自交総連本部

〒110-0003 東京都台東区根岸2-18-2-201

tel. 03-3875-8071

fax. 03-3874-4997

メール [info@jikosoren.jp](mailto:info@jikosoren.jp)

ホームページ→



## 「宣伝しているのは自交総連だけ」と労い

ライドシェア解禁阻止統一行動

4県でキャラバンを実施

自交総連は、各地連・地本においてライドシェア解禁阻止行動を連日行っています。5月も各地方で宣伝行動が実施されました。

### 東北 経営者「仕方なく自家用車活用事業に協力」

東北地連は5月7～12日に「ライドシェア解禁阻止」統一行動として、宮城県・福島県・山形県・秋田県でキャラバンを実施しました。

#### 【5月7日・宮城県内】

17時ころ、関東ブロックの冨松事務局長から本部宣伝カーを引き継ぎ。その後、仙南タクシーの高沢社長（宮城県タクシー協会会長）と面談しました。高沢社長は、「自家用車活用制度

は手間ばかり掛かって採算が合わない。経費も持ち出しとなり、最賃も払えない。何のメリットもないが協会の立場上やらざるを得ない。タクシー協会の役員になっていない会社が羨ましい」と語り、ライドシェアは何としてでも止めることを確認しました。

#### 【5月8日・宮城県内】

10時から14時まで仙台市内で宣伝行動を実施。

10時に仙南タクシー車庫を出発し、東北運輸局付近～仙台駅東口～仙台駅西口～宮城県庁付近～仙台市役所付近～長町区役所付近を音源流しで運行し、ライドシェ

2024. 05. 09 福島・福島駅前



アの危険性を訴えました。

宣伝から戻ると、仙台市定禅寺通りで行った宣伝行動（4月20日）をキッカケに、市民団体の『みちのく情報編集局』から連絡が入り、「自交総連のライドシェア反対のチラシを学習会で配りたい」という申し出がありました。白タク合法化阻止への機運は確実に高まっていることを感じることができました。

### 【5月9日・福島県内】

10時から16時まで福島県内で宣伝行動を実施。

10時に車庫を出発し、福島駅前で街宣とビラ配りを行いました。その後、福島市中心部を音源流ししながら移動。相馬駅に到着しましたが、タクシーも通行人もいなかったため音源流しで宣伝しました。

この日は、福島市・相馬市の組合員が参加してくれました。

### 【5月10日・福島県内】

10時から14時まで塩釜市～多賀城市で流し中心に宣伝行動を実施。

### 【5月11～12日・山形県から秋田県】

2024. 05. 12 秋田・秋田駅前



11日は、10時に車庫を出発し、山形市まで流しで宣伝を実施。

山形駅に到着すると、街頭宣伝を行い、ティッシュ付きビラを配布しました。タクシー労働者から、「自交総連また来たんだね。一生懸命宣伝しているのは自交総連だけだね。ご苦労様」と労いの言葉をもらいました。

12時半からは大沼デパート前で街宣、14時から寒河江市と鶴岡市で流し宣伝を行いました。

12日は、鶴岡市を出発し、酒田市・秋田市で流し宣伝を実施。

11時半からは秋田駅前街頭宣伝を行いました。あさひ労組の小川委員長も参加してくれました。路線バスのターミナルの前でバス待ちしている人からの反応も良く、訴えを聞いていた市民から「署名はないのか」という声かけがありました。小川委員長の話では、タクシープールでもライドシェアについてよく話題にあがっているとのことでした。

### 【キャラバンの感想】

東北地方は、各県の県庁所在地以外は過疎化が進行し、中核的都市でも駅前に人やタクシーはおらず、活気もありませんでした。こんな時に、ライドシェアを解禁しても問題解決にはまったくつながらないと実感しました。

鉄道やバス、タクシーなどの公共交通をどう各地域で活用していくのか、地域住民と自治体、交通事業者、交通労働者が一体となり、知恵を絞らないと解決しないところに来ています。ライドシェアで解決などまったくの幻想です。地域の人たちもライドシェアなど望んでいません。

東北地方で、ライドシェア反対の宣伝を行っているのは自交総連だけで、本部の宣伝カーは大きなインパクトがありました。

自家用車活用事業については、仙台市の経営者は「採算が取れず問題の解決にならないが、協会の役員会社を中心に仕方ないからやる」というスタンスです。どこまで労働者や経営者に負担をかけるのか、国のやり方には本当に腹が立ちます。

引き続き、ライドシェア導入・自家用車活用事業反対の闘いを進めていく決意です。宣伝に参加した組合員はみんな元気で、がんばると言っています。（報告者：石垣敦地連書記長）

## 神奈川 タクシー運転者から激励受ける

神奈川地本は5月28日、本部宣伝カーを活用して音源流しをしながら小田原エリアから湘南エリアを回り、ライドシェア解禁阻止宣伝を実施しました。

強風注意報が出る悪天候の中、小田原駅頭で箱根登山ハイヤー支部からも人を動員し、利用者や停車中のタクシー運転者へビラ配り行動をしました。

藤沢駅での宣伝では、和光交通のタクシー運転者さんが快くビラを受け取ってくれ、激励を受けました。大船駅でも宣伝行動を行いました。藤沢駅とは対照的な反応となり、宣伝を地道に続けなければならないと感じました。

2024. 05. 28 神奈川・藤沢駅前

